

# 博物館資料論

自由

開講年次：3年次前期

科目区分：講義

単位：2単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：博物館資料の収集、保存・管理、調査研究、展示は博物館活動の基幹業務である。本講義では、これら諸業務について理念と方法を学び、博物館資料の概念を明確にし、博物館活動の基本について理解を図る。前半は美術館資料、後半は考古学資料について学ぶ。

■**到達目標**：博物館学芸員資格保持者にとって文化財保護にいかなる貢献ができ、そのために何をすべきかを習得することを目的とする。

- ①博物館資料の重要性を知る。
- ②美術館資料に関する情報処理とその利用、および資料の保存管理と公開について熟知する。
- ③考古学資料の情報処理とその利用、保存管理と公開の問題を通じて、博物館の意義を熟知する。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎岩崎 直人、小野 裕子

■**授業計画・内容**：

- 第1回 美術館における資料の意義
- 第2回 美術館資料のドキュメンテーションー作成
- 第3回 美術館資料のドキュメンテーションー活用
- 第4回 美術館資料のデータベース
- 第5回 美術館資料の取り扱い
- 第6回 美術館資料の保存環境
- 第7回 美術館資料をめぐる権利I
- 第8回 美術館資料をめぐる権利II
- 第9回 考古学資料の特質I（資料の特質・他分野との相違点と共通性を理解する）
- 第10回 考古学資料の特質II（資料を観察して情報を引き出すことで理解を深める）
- 第11回 考古学資料の収集（さまざまな収集方法とその限界・特性を理解する）
- 第12回 考古学資料の整理・分類・保管I（資料の整理・分類・保管方法を理解する）
- 第13回 考古学資料の整理・分類・保管II（資料を分類して適切な処理方法を理解する）
- 第14回 考古学資料の保存・展示・活用I（資料の劣化問題、展示・活用方法を理解する）
- 第15回 考古学資料の保存・展示・活用II（資料は誰の物か？誰が、なぜ守るのか？）

■**教科書**：

■**参考文献**：

■**成績評価基準と方法**：

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
レポート	◎	◎	◎	適宜、レポート等課題を提示	70%
授業態度	○	○	○		30%

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：博物館学概論

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：